

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービス青い鳥		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R8年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R8年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間の連携と丁寧な情報共有	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の職員会議で子どもの様子や課題を共有し、全員が支援の振り返りや改善に参画できる体制を整えている。 ・個別支援計画の内容を職員全員に共有し、理解が必要な部分はその都度話し合っている。 ・送迎時や連絡帳で保護者と丁寧に情報共有を行い、共通理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース検討会や研修内容の共有など、職員間の学び合いの機会を増やし、支援の質をさらに高めていく。
2	こどもに寄り添った丁寧な支援と環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・選択肢カードや視覚支援など、特性に応じた支援方法を工夫している。 ・清潔で安心して過ごせる環境づくりを心がけ、活動内容に合わせた空間設定を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもがより主体的に選択できるよう、活動内容の幅を広げていく。
3	地域交流や保護者との関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・短大のボランティアサークルによるパネルシアターの訪問や、歯磨き指導など、地域の方々との交流を継続して行っている。 ・今年度は近隣小学校の育成クラブとの交流を初めて実施し、子どもたちにとって良い経験となりました。 ・保護者会や親子レクリエーションを開催し、保護者同士がつながれる場をつくっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・育成クラブとの交流は今年度が初回であるため、関係機関と連携しながら今後も継続して実施できるように取り組んでいく。 ・地域の関係機関との交流機会を増やし、こどもの経験の幅を広げていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境面の課題(スペース・バリアフリー)	<ul style="list-style-type: none"> ・建物構造上、玄関やトイレのバリアフリー化が難しい。 ・スペースに限りがあり、利用人数や活動内容によっては狭く感じる場面がある。 ・上階からの水漏れにより棚の設置が遅れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動線の見直しや案内表示の工夫など、できる範囲で安全性を高める。 ・棚の設置や環境整備を計画的に進める。
2	家族支援・説明の周知不足	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の機会が限られており、保護者に十分伝わっていない部分がある。 ・保護者向け研修の実施ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画説明の方法を工夫し、図や写真など視覚的な説明を取り入れる。 ・保護者会や個別面談の機会を増やし、相談しやすい環境を整える。
3	関係機関との連携不足	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援センターとのスーパーバイズ機会がない。 ・以前の利用機関や移行先との直接連携が少ない。 ・自立支援協議会への参加が難しい状況。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連絡体制を見直し、情報交換の機会を増やす。 ・センターへの相談や助言を受ける機会を積極的に確保する。 ・協議会への参加方法を検討し、可能な範囲で関わりを増やす。